

第13回SDGs推進円卓会議 提出資料

2021年12月2日（木）

SDGs
スポットライトレポート
2021
2021年7月

一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク



三輪 敦子

一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター 所長
一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 共同代表理事

SDGs スポットライトレポート2021

- 1) 「**SDGsを軸にした対策**」が、コロナ後をつくるために必要不可欠。
- 2) 脆弱で周縁化されがちな当事者および当事者を支援する団体で構成される市民社会組織の経験、知見、専門性が政府による取り組みを補完・強化し、「誰一人取り残さない」包摂的なSDGsの達成を可能にする。
- 3) 現在、公表されていないグローバル指標については、代替指標の活用を含めて早急にデータ整備を進め、**SDGsの進捗状況を評価できる体制を整備**していただきたい。
- 4) 障害、性を始めとして、グローバル指標で求められているものの公表されていない**属性別データの整備**についても、「誰一人取り残さない」という観点から早急に取り組んでいただきたい。
- 5) **目標・分野横断的な達成状況の評価**についても、是非、積極的に取り組んでいただきたい。
- 6) **ベースラインデータが整備され、目標と達成期限が設定されて初めてバックキャスティングに基づいた進捗評価が可能になる**。是非、そうした観点からのアクションプランをお願いしたい。



SDGsボトムアップ・アクションプラン2021

- 1) 政府が示す「日本のSDGsモデル」の4つの重点事項に対し、ボトムアップの視点で重点事項と市民社会からのポイントを示し、**市民社会が考える優先課題分野別の政策提言**をまとめた。
- 2) いまこそ、誰一人取り残さず、命を守り、人権を尊重し、環境と共生するために、多様な目標を含むSDGsを基盤としたCOVID-19対策が必要。コロナを言い訳にするのではなく、**コロナに適切に対応することが、SDGsの達成にもつながる。**
- 3) 市民社会の経験と知見を反映したSDGsボトムアップ・アクションプランが、政府のアクションプランに反映され、**SDGsの基盤と革新性を強化してギャップを埋めていく**ことによりSDGsの達成が現実のものになる。
- 4) **パートナーシップの推進・強化**：SDGs推進円卓会議の体制拡充と強化、進捗/モニタリングの強化、VLRの推進を通じた市民参加の強化、SDGsローカル指標策定の推進など

